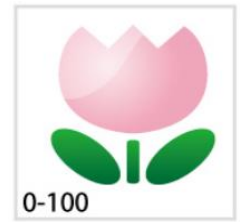


チューリップ花壇のデザイン(エクセル)

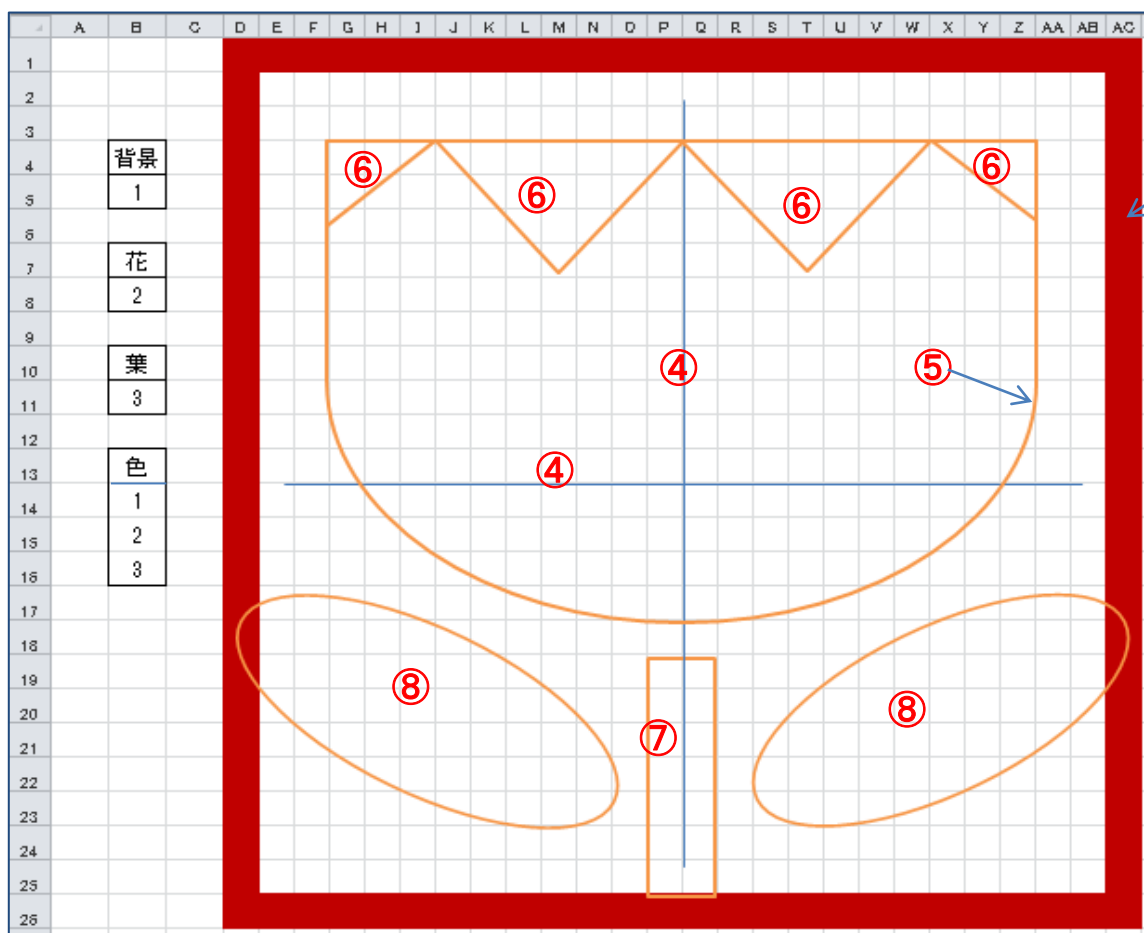
今回は、いろいろな色のチューリップを使って花壇をつくる際に、どのように配列したらよいかをエクセルを利用してデザインする学習です。ここでは24列×24列の花壇とします。

1. 花壇の図案を決める 花のイラストホームページを開き、単純な図チューリップ(0-100)を参考にします(<http://www.花.biz>)。



2. エクセルを起動して花壇の植え付け場所や枠を作成

- ① ページ設定: A4横、余白は上下左右0.9cm程度 に設定。
- ② 1~26行の高さ:30ピクセル、A~C列の幅:50ピクセル、 D~AC列の幅:30ピクセル に設定。
- ③ 下図のように花壇の枠部分を塗つぶしておきます。B列は文字フォントサイズ14とし、文字入力を行います。B列の数字は半角で入力します。



3. 花壇のデザインを図形を利用して描画する

- ④ 水平線、垂直線を入れる。・・・ ⑤~⑧の位置決めに使用。
- ⑤ チューリップの花の形状として、論理積ゲート図を挿入。
- ⑥ チューリップの花びらを示す三角形を挿入します。
- ⑦ チューリップの茎として、長方形を挿入。
- ⑧ チューリップの葉を示す、楕円形を挿入。
- ④以外の図形はすべて塗りつぶしなしに設定します。

4. 花壇のセルに式を入力 花壇への植え付けとしては、色を示す式を入力します。

(1) チューリップの花を示す部分への式入力

- ① チューリップの花部分のセル(例えばG7セル)をクリックし、次の式を入力します。

入力式: 「=B\$8」 \implies 入力したセルに、B8の数字「2」が表示されます。

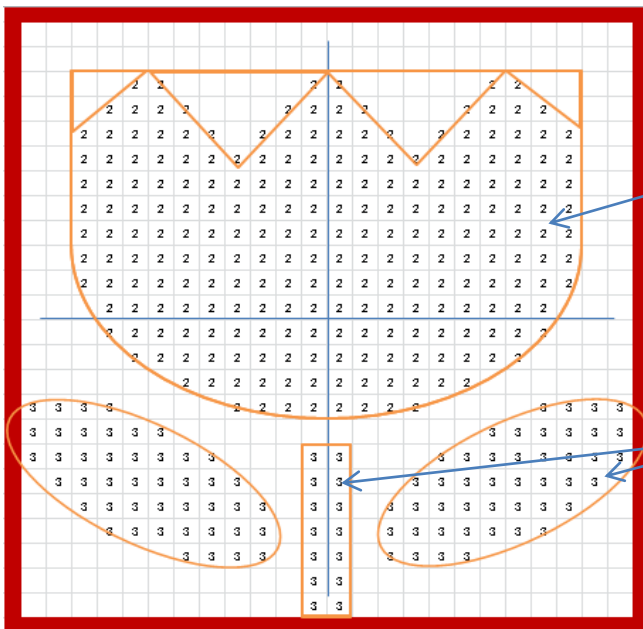
- ② G7セルをコピーして、チューリップの花部分に貼り付けます。

(2) 葉と茎部分への式入力

- ① チューリップの葉部分のセル(例えばE18セル)をクリックし、次の式を入力します。

入力式: 「=B\$11」 \implies 入力したセルに、B11の数字「3」が表示されます。

- ② E18セルをコピーして、チューリップの葉の部分と茎部分に貼り付けます。



チューリップの花部分のセルに式入力した状態。各セルにB8セルの数値「2」が表示される。

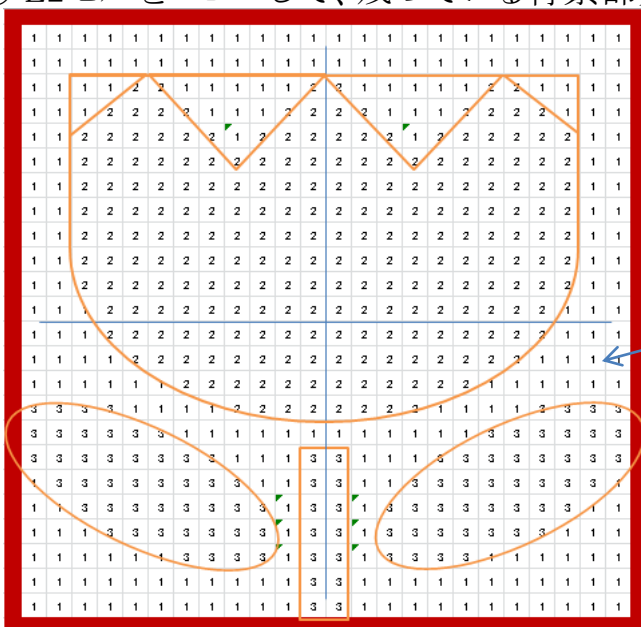
チューリップの葉と茎の領域のセルに式入力した状態。各セルにB11セルの数値「3」が表示される。

(3) 背景部分への式入力

- ① 花壇枠内の背景部分のセル(例えばE2セル)をクリックし、次の式を入力します。

入力式: 「=B\$5」 \implies 入力したセルに、B5の数字「1」が表示されます。

- ② E2セルをコピーして、残っている背景部分に貼り付けます。



チューリップの花、葉、茎を除いた背景部分のセルに式入力した状態。各セルにB5セルの数値「1」が表示される。

式入力したセルの貼り付けに際しては、残っている未入力のセルに貼り付けする形なので、花・葉・茎などの図形線は削除してしまってもOK。

5. 花壇のセルに色を表示させます。

(1) 花壇枠内全域 (E2~AB25) をドラッグして選択後、Ctrlキーを押しながらB14~B16セルを選択する。

(2) 条件付き書式を使用

「条件付き書式」



「新しいルール」



「セルの値に基づいて

総てのセルを書式設定」



「3色スケール」



「最小値」の箇所を

「種類」: 数値

「値」: 1

「色」: 黄色

「中間値」の箇所を

「種類」: 数値

「値」: 2

「色」: 赤色

「最大値」の箇所を

「種類」: 数値

「値」: 3

「色」: 濃い紫色

に設定する(右図)。



「OK」



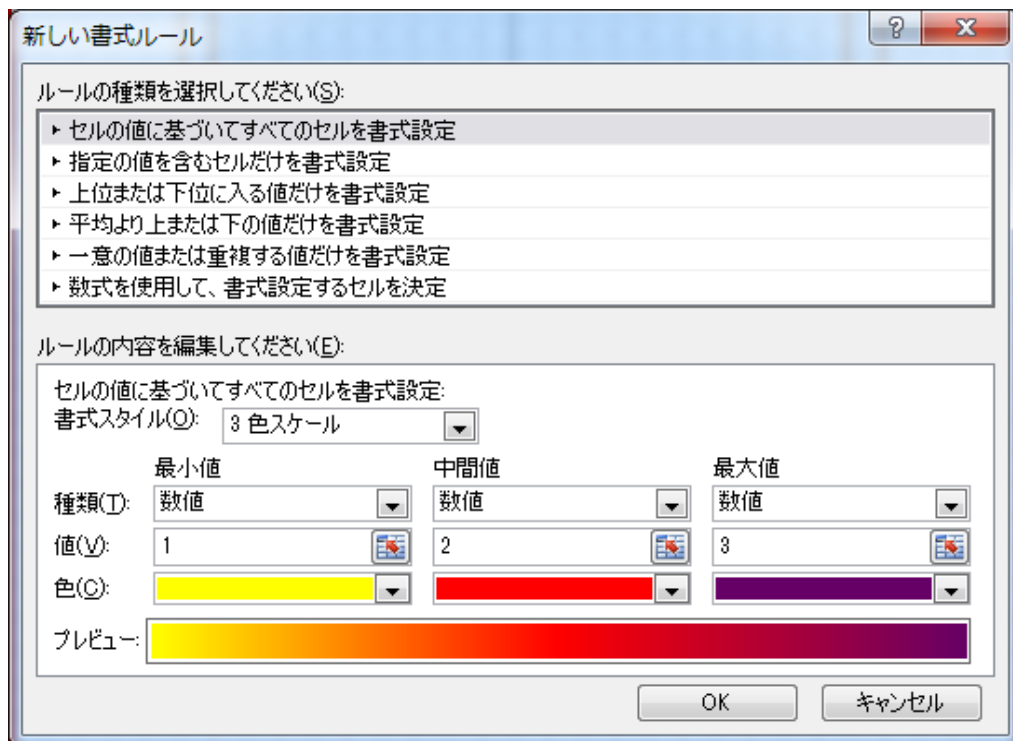
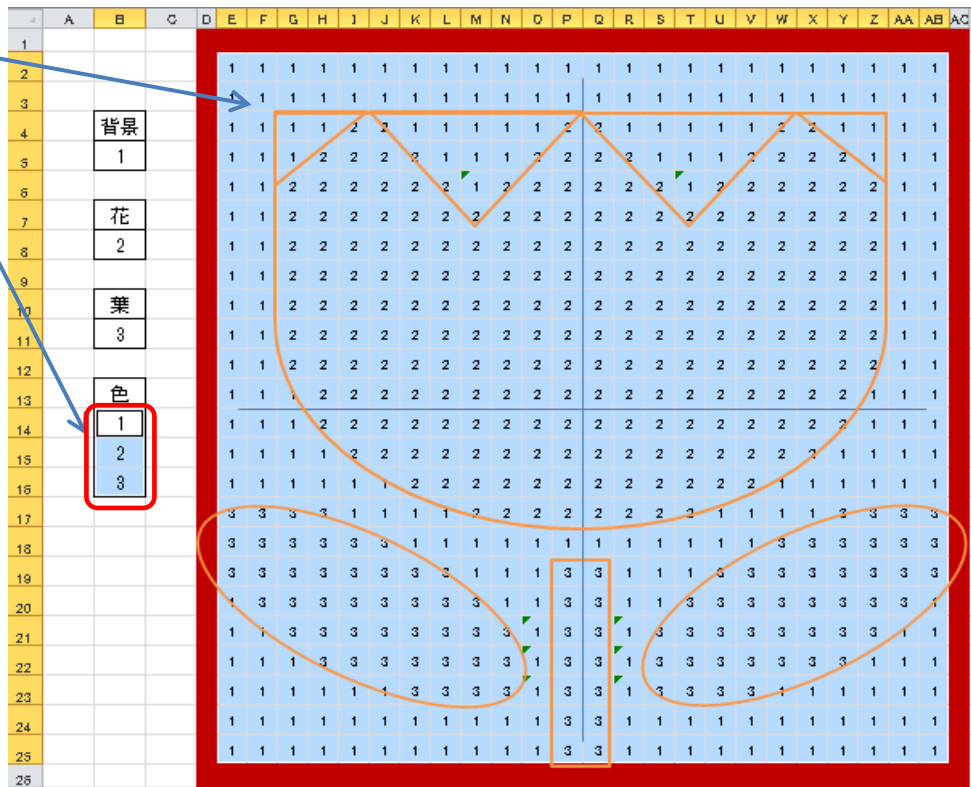
次頁のように花壇に色が表示される。



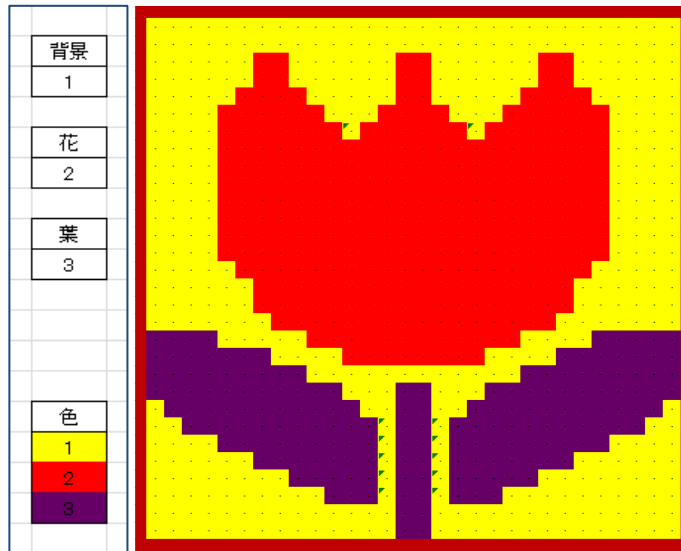
B5セル、B8セル、B11セルの数値を変えると、花壇の配色を変更することができます。

花壇内のフォントサイズを最小値1にするとより見やすくなります。

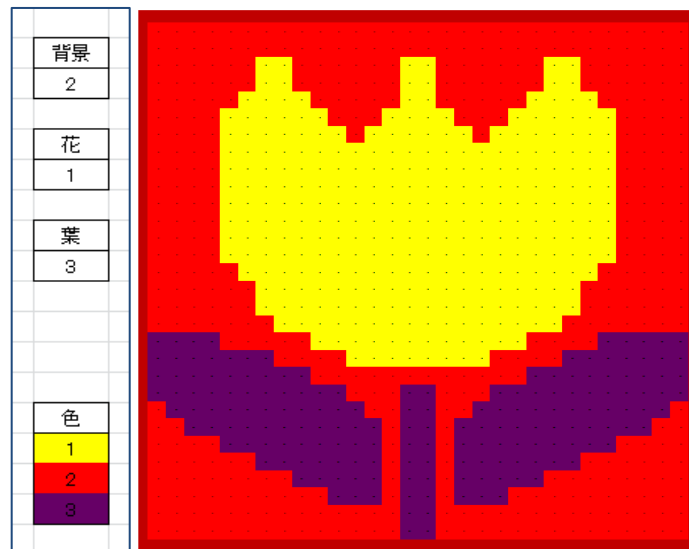
余裕がある方は、基本となる色を変えたり、花壇を20×20列に変更してみてください。



＜花壇完成図1＞



＜花壇完成図2＞



＜花壇完成図3＞ 基本色を黄色→白色に変更

